

活動の記録 (2019. 11~2020. 3)

● ちょうふチャリティーウォークにてフードドライブと啓発活動

10月27日はお天気に恵まれ、たくさんの方でにぎわいました。近隣の方が食品を寄付してくださり、また、チャリティーウォークの参加者にチラシをお渡しする際にフードバンクの説明をすると、多くの方が関心を持ってくださいました。

● フードドライブキャンペーン実施

11月1日~30日、市内11カ所にてフードドライブキャンペーンを行いました。たくさんの方が寄付してくださり、112kgの食品が集まりました。

子どもたちの笑顔のために

ひとり親世帯の50%が厳しい暮らしをしている、というデータがあります。調布市にも1000を軽く超えるひとり親世帯があり、給食がなくなる学校の長期休みには子どもたちの栄養が不足することが多いと言われています。

そこでフードバンク調布では2019年12月に初めての取組みとして**冬休み★子ども元気プロジェクト**を実施しました。感想ハガキには喜びの声がたくさん(右参照)。スタッフのやる気にも火がつき、春休みにも実施することになりました。

● 冬休み★子ども元気プロジェクト



10月に市内のひとり親世帯にご案内をお送りして希望世帯を募集、12月7日・10日・12日に「調布市総合福祉センター」と「市民活動支援センターあくろす」にて食品をお渡ししました。加工食品や調味料の他、市内の農家さんから寄付された野菜、子ども向けの本も大変喜ばれました。初めての試みということもあり、抽選にて50世帯を選ばせていただきましたが、本当は全員のご希望に添いたところ。資金・労力の両面において、今後の課題です。

● 春休み★子ども元気プロジェクト & パントリー

冬休み★子ども元気プロジェクトが喜ばれ、ご希望も多かったことから、春休みも実施することとなりました。しかし思いもよらぬコロナ騒ぎで中止することも考えましたが、急な長期休校でお昼を子どもだけで食べるひとり親家庭の窮状を聞き、実施に踏み切りました。皆さんにとっても喜ばれ、実施して良かったと安堵しました。また調布子ども食堂ネットワークが企画した「子どもフードパントリー」にも協力し、食品を提供しました。



春休み★子ども元気プロジェクトの様子。お子さんと一緒に受取りに来た方々もいて、楽しそうに選んでいました。「急な休校で本当に困っていたので食品は本当に助かる」ととても喜んでいただけました。

フードバンクはこの1年で少し知られるようになってきました。また、社会問題としての貧困・格差もメディア等で多く取り上げられるようになってきています。

冬に始まったコロナウイルスは社会をかき回し、最も弱い立場の人へ牙をむいています。企業の経営不振によって影響を受け、経済的に立ち行かなくなる人が増えてしまうかもしれません。

このような中、私たちフードバンクは弱い立場の方に寄り添えるよう、一層活動を進めていきます。会員となつて**資金面から活動を支えてくださる個人の方・企業を大募集**しています。仕分けなどをお手伝いいただく**作業ボランティアも大歓迎!** 支え合う街を実現するために、ご協力よろしくお願いします。